

みなと八朔まつりと地域連帯

夏のこゑを聞くと、各地から夏祭りの便りとともに賑やかな笛や太鼓の音が聞こえてくる。又、各種媒体は挙って地域の風情をこめた夏祭りを写し出し、いやがうえにも心を踊らせる。私自身も地元(那珂湊市)の伝統ある天満宮祭礼、いわゆる八朔まつりが気掛りとなり“我が心ここにあらず”の心境に陥ることとなる。

八朔まつりとは「八月一日のまつり」との意味であり、起源は古く鎌倉時代に遡るといわれる。当時の祭事形態を留める書物がなく不明といわれるが、現在の祭事形態が確立したのは、徳川光圀(水戸義公)が水戸徳川家第2代藩主として君臨した元禄8年とされる。この頃の湊地方は半農半漁の貧しい地域であったが、水戸義公が別邸として那珂湊に賓館を建てられ、又その後、水戸家の商港として開港し、東北、北陸各藩の米穀物資を江戸に輸送する水路流通基地の役割を果たすに至り、「西の大阪、東の那珂湊」と唱えられる様に繁栄したといわれている。

八朔まつりの原形は驚くなかれ仏事形態といわれており、水戸義公が名臣菅原道真公を敬慕され、神霊を慰め奉ることから天満宮祭礼と改め、あわせて五穀豊穡、漁業繁栄、町内安全を祈願し、東照宮の御祭礼に擬って祭事形態を整えたといわれる。水戸家歴代

の藩主は、きまって天満宮祭礼を御覧になったといわれ、水戸家の庇護のもと隆盛を極め、格式高く、伝統の重みを感じる祭礼となっている。風流物は各町が競って飾り物をし、大正のはじめ電灯が普及して電線が張り巡らされる迄は、青森のねぶたよろしく地上10数メートルの高さまで伸ばした竿に、白布を覆い、架空の人物等を艶やかに描いて、各町とところ狭しと練り歩き、近郷近在から「関東三大まつり」とけん伝されたといわれている。

近年、住時のよすがを想起こそすことは不可能であるが、華飾、荘嚴な風流物を厳肅のうちに運行する様は、伝統に培われたものであり、ササラ、ミロク(歳時記写真)が国の民俗文化財に選択されたことから伺いしれる。

かつて、時の流れの中で八朔まつりが本祭、社頭祭(居

祭)と一定しないときがあり、各地の祭礼をせん望と嫉妬で眺めていたことがある。伝統ある「郷土まつり」の意識が薄れたと危惧の念を抱いたこともあったが、昭和51年以降の本祭から、本祭、社頭祭にかかわらず、各町が一体となって、毎年風流物を運行することで合意している。ただ、資金等の問題があり、かつてのような芸妓の艶やかな容姿は拝むことはできないが、小・中・高校生をあどけない、黄色い囃子についで誘われて身を乗り出すことうけあいである。

近年、都市化の進展に伴い、生活水準は物質的に恵まれ、所得水準や消費水準は向上し、住民の大半が中流意識を持つようになった。又、モータリーゼーションの発達に伴い、通勤、通学、娯楽、買い物などの日常生活圏も著しく拡大し、生活意識や生活様式が変化してきた。合理性、

個人中心性を特徴とする都市的生活意識や生活様式は、私たち身近かにも浸透し、他人にあまりかかわりを持たず、かつ、形こそかわれ近隣にわずらわされない孤立した個人中心的な生活パターンを求めるようになり、地域社会に対する関心や依存度を減少させるといふ、地域連帯感が希薄化する傾向にあった。経済の低成期に入り、“もの”とあわせ“ところ”を重視する気運が



写真：みなと八朔まつり風流物

みられるようになり、各人お互いが持っているそれぞれの問題を地域全体の共通の生活課題としてとりあげ、解決してゆこうという傾向が芽ばえてきたという。私の地元(泉町、八幡町)にも、八朔祭を契機として一部有志ではあるが親睦会(泉会)が発足し、連帯と融和をモットーに、伝統ある八朔まつりの発展と地域奉仕(清掃作業)、地域レクリエーション(盆踊り)、地域コミュニケーションの場建設運動(集会所建設のための市議会請願)など、草の根的活動を活発に行ってきた。設立当初は“おまつり気遣い”同然に白眼視されていたが、5年余の歳月のうちに泉会の地域に根ざした活動が認められ地域住民からの理解と協力が得られる迄になっている。これも出発点は、伝統ある八朔まつりからである。

(統計課・川崎政太郎)

【新着資料案内】

この資料は、昭和57年6月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。

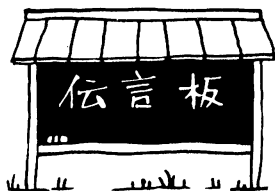
行政資料室 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2668)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係		茨城の人口	統計課
消費者物価指数年報	総理府	茨城県統計年鑑	〃
統計でみる県のすがた	〃	茨城県のすがた	〃
社会生活統計指標	〃	茨城県勢要覧	〃
労働力調査年報	〃	茨城県工業用水整備構想	商工企画課
家計調査のしくみと見方	〃	中小企業集団・団体の福利厚生施設制度等実態調査	労政課
昭和57年版観光白書	〃	昭和57年度茨城県年次雇用計画	職業安定課
昭和57年版地方財政白書	大蔵省	茨城の農林水産業	農政企画課
学校基本調査報告書	文部省	茨城のうまい米づくり	営農再編対策課
人口動態社会経済面調査報告	厚生省	茨城の園芸	流通園芸課
国民衛生の動向	〃	地方卸売年報	〃
第57次農林水産省統計表	農林水産省	茨城の野菜	〃
1980年世界農業センサス事後調査報告書	〃	茨城県における団地化・集団化の事例	改良普及課
1980年世界農業センサス農家調査報告書	〃	明日をめざす普及活動	〃
1980年世界農業センサス農家調査都県別統計書	関東農政局	茨城の野菜病虫害	〃
茨城県の農業生産	茨城統計情報事務所	霞ヶ浦・北浦の水産	霞ヶ浦・北浦水産事務所
鉱工業生産動向	通商産業省	漁船統計表	水産施設課
工業統計表 産業編	〃	茨城県土木概要	監理課
〃 品目編	〃	道路現況調書	道路維持課
〃 市町村編	〃	鹿島港統計年報	鹿島港湾事務所
昭和57年度版通産白書(各論)	〃	交通白書	県警察本部
昭和57年版中小企業白書	中小企業庁	茨城の犯罪	〃
昭和56年度労働経済の分析	労働省	県内市町村関係	
昭和57年版労働白書	〃	工業名鑑	竜ヶ崎市
茨城県関係		統計要覧	下館市
ポケット子算	県議会事務局	はさき町勢要覧	波崎町
県土の発展と県民のしあわせづくりをする	〃	あけの町勢要覧	明野町
昭和54・55年度茨城県大気汚染調査資料	公害技術センター	都道府県関係	
茨城の長期展望	企画調整課	県経済の構造	岩手県統計調査課
県政グラフ茨城	広報課	産業連関表の見方・使い方	〃
昭和55年度茨城県事業所経済調査報告書	統計課	宮城県経済と県民生活	宮城県統計課
統計からみた茨城の地位	〃	福島県市町村民所得	福島県統計調査課
第14回都道府県勢の展望	〃	昭和56年度統計からみた群馬の経済	群馬県統計課
昭和56年茨城県鉱工業生産指数	〃	昭和56年群馬県移動人口調査結果	〃
昭和55年茨城県物流流通調査結果報告書	〃	千葉県消費者物価指数	千葉県統計課
茨城県事業所名鑑	〃	神奈川県経済の動向	神奈川県統計管理課
茨城県社会生活統計指標	〃	社会生活指標からみた福井県	福井県統計課
昭和55年国勢調査第一次基本集計結果の概要	〃	昭和56年長野県の人口	長野県情報統計課

【新着資料案内】

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
岐阜県経済の構造	岐阜県統計課	公社・会社・団体等関係	〓全国統計協会連合会 “ 茨城県農業史研究会 茨城県農業史編さん会 茨城県商工会連合会 〓常陽産業開発センター 総合研究開発機構
京都府の地域別社会生活統計指標	京都府統計課		
第69回大阪府統計書	大阪府統計課		
昭和56年鳥根県の移動人口	鳥根県統計課		
福岡県鉱工業指数	福岡県調査統計課		
県内主要経済指標の動向(56年版)	沖縄県統計課		
沖縄県鉱工業指数	“		
県外市町村関係			
川崎市工業	川崎市		
世界食糧需給予測の比較研究	“		

かくれたベストセラー 県民必携の生活手帳



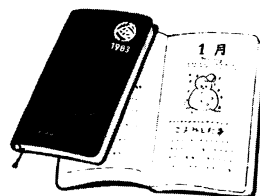
昭和58年版 県民手帳 申込受付中!

発行 茨城県統計協会

品切れの場合もあります。お早めに

メ切 9月20日

毎年皆さまに親しまれ、ご愛用いただいております県民手帳、ねだんが安くて資料が豊富なのが好評です。そのうえ、ポケット版ですから、手軽に利用できます。どうぞご利用ください。



- 大きさ 7×12cm (ポケット版・鉛筆つき)
- ねだん (一部) 290円

昭和58年版 県民手帳(大型版) 申込受付中!

限定部数発行です。お早めにお申込みください

メ切 9月20日

毎年皆さまに親しまれ、ご愛用をいただいております県民手帳の大型版を今回限定部数発行することにいたしました。

内容は、ポケット版と同じですが文字が見易く大変使い易い手帳です。どうぞご利用ください。

- 大きさ 8×14cm
- ねだん (一部) 400円

【申込方法】

申込み先：各市役所、町村役場の統計係で受付けます。

または、水戸市三の丸1-5-38 茨城県企画部統計課内「茨城県統計協会」に申込みください。(TEL 0292-21-5505)

代金及び送料：代金は、手帳が届いた後、同封した払込通知票により振り込んでください。(送料は実費負担、ただし30冊以上は当方負担)